

派遣留学生帰国報告書

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2022/6/17
所属学部・ 研究科・学府	文学部
所属学科・専攻	人文学科 国際言語文化学コース

1. 留学先について

留学先大学名	サラマンカ大学										
留学先所属学部等	文献学部										
留学期間	出発日	2021/9/4	入学日	2021/9/9	修了日	2022/6/17	帰国日	2022/6/17			
住居	大学(紹介)の寮・アパート			民間アパート	<input type="radio"/>				その他()		
	通学時間	15分					On campus				
	通学方法	徒歩									
	居室スペース	個室	<input type="radio"/>		(1) 人部屋	その他()					
	共有スペース	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	60 %	学食	%	外食	40 %	その他	% ()			
保険	海外旅行保険(名称)	JTBトータルサポートプログラム Hプラン									
	留学先国・大学指定 の保険(名称)	ERGO					<input checked="" type="checkbox"/> 加入必須				
	その他										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)										
	成田 ⇄ ドバイ(飛行機・乗り換え) ⇄ マドリード(飛行機) ⇄ サラマンカ(バス)										

2. 留学にかかった費用について

総費用	110万 円						
出どころ							
自費	貯金	20万 円	アルバイト	円	その他	円	
援助	親	10万 円	家族・親戚	円	その他	円	
奨学金	JASSO	80万 円	その他名称()	円			
その他	その他()					円	

2-1. お金の管理方法

渡航時		現金	3万 円	その他()	円
留学中	✓	海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	大家さんに手渡し
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			10万	円
JTBトータルサポートプログラム(海外旅行保険・危機管理サービス)			17万	円
その他の保険料			1万	円
査証・在留許可証			0	円
住居			42万	円
光熱費			6万円	円
食費			30万円	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費			3万	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (帰国時PCR検査)	ユーロ	95	1万	円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			✓	有	無
1 Historia del Trabajo Social y Contextos de Desarrollo	正規	6	✓	有	無
2 Gramática para la enseñanza del español I	正規	3	✓	有	無
3 Gramática para la enseñanza del español II	正規	3	✓	有	無
4 Traducción directa I: 2 Lengua extranjera: Japonés	正規	6	✓	有	無
5 Sociedades de asia oriental	正規	3	✓	有	無
6				有	無
7				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

授業期間開始から1週間はいろんな授業に出かけて、内容・試験方法・先生の話し方など様々な面を比較し、自分に合う授業を探した。履修したい授業が決まった後はコーディネーターの先生に連絡を取り、許可をもらう方式だった。

3-2. 授業内容、方法に関して

スペイン語の教授法や翻訳法といった自分のスペイン語力を上げられそうな授業や、外国から見た日本を知れるような授業を主に受講した。週に複数回受講される授業から1度に3時間続けて行う授業、そして授業の開始時間など学部や先生によってかなりばらつきがあった。テスト方式も授業によって選択肢有のものから白紙が配られて自分ですべて考えて回答するものまであり、様々だった。電子辞書の持ち込みについても先生によって異なっていたので、テスト前に各先生に対して確認をとることをお勧めする。

3-3. 語学力について

渡航直後は簡単な日常会話ができるレベルでかなり不安を感じていた。しかし、渡航してから1カ月ほどで失敗を恐れず話をするようになり、スペインでよく使われる単語やそうではない単語など毎日新たな発見をしながら学んでいた。語学学校に通っていたこともあり、半年がたったころには自分の意見を言うことに時間がかからなくなってきてスペイン語で話すことが楽しくなった。最初は不安になることもありますが、焦らなくても大丈夫です。ゆっくりと楽しみながら勉強していきましょう！

3-4. 図書館など学内施設について

各学部には図書館があり、どの学部の学生でも利用することが出来た。しかし、基本混んでいるので、私はいつも日西文化センターの付属図書館を利用していた。コンチャスの中にも図書館があるので、学部の図書館が混んでいた時にはぜひ利用してほしい。また、学生が利用できるジムや食堂、カフェなどもあり施設はかなり充実した学校だったと思う。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

過去に留学されていた先輩の紹介で入居した。大学・語学学校ともに徒歩15分以内で移動できる好立地だった。また、近くには日曜日もやっているスーパーや、大型スーパーなどがあり、生活しやすい場所であった。2人の同居人と3人でのシェアハウスとなったが、1番小さな部屋だった代わりに、バス・トイレは1人で使うことができ、ストレスのない生活を送ることが出来た。空いている時間には3人で映画をみたり、同居人の友人も交えて食事をしたりと仲良くなることができたので家の中での時間も充実したものとなった。

4-2. 食生活について

スペインは非常に料理がおいしい国なので、特に不満に思うことはなかった。外食：自炊＝3：7の割合で食事をしており、東方商店というアジア食品店があったため日本食にも困ることはなかった。しかし、外食で日本食を食べようとするとあまりいいお店がなかったため、日本食が好きな人は自炊をする習慣をつけておくことをお勧めする。ただ、スペインの食事の時間がお昼は14時ごろ、夜は22時ごろと日本とは少し違ったので友人と食事に行く際など最初のうちは慣れないことも多かった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯電話は1カ月10€と日本に比べてかなり安く使うことが出来た。しかし、電波状況はあまりよくなく、高い場所や地下などは基本的にずっと圏外だった。地下にある大きなスーパーのメルカドーナに行くときにはレシピを事前にスクリーンショットでとっておくなどの工夫が大切である。

4-4. 服装について

留学中は9月の中旬から5月初旬までほとんどの時期を長袖で過ごした。寒い冬か暑い夏のどちらかといった極端な気候だったので薄めの長袖の出番はあまりなかったように思う。スペインにはZARAやMANGOなどかわいくて安い服屋さんが多くあるので長袖を少し持っていき、あとは現地調達をするのがおすすめです。

4-5. 健康管理について

日本から普段使うような痛み止めや風邪薬は多めに持参した。サラマンカは年中乾燥している地域なので、冬でもこまめな水分補給を忘れずに行うようにしていた。エアコンやヒーターが自室にあるわけではなく、温度は建物全体で一括して管理されていたため、部屋の中でも服装に気を配ることが体調管理のコツである。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

私は運よく大きく体調を崩すことがなかったので利用することはなかった。

4-7. 課外活動について

週に5日、毎日5時間自主的に語学学校に通った。授業を通して様々なテーマ別のスペイン語に触れられたり、スペイン以外の国の人も友達になれたりしたため、通ってよかったと思っている。サラマンカには市立・公立・大学付属など沢山の語学学校があるので、期間や値段、授業内容を調べて自分に合うものを選んでほしい。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

毎週木曜日の22時にCafe Bécquerで開催される日西交流会(インテルカンビオ)に参加していた。毎週新しいメンバーが参加するので、いろいろなスペイン語に触れられたり沢山の友達を作ることが出来たりした。特に仲良くなった友人達とは毎週休日に集まって日本食やスペイン料理を互いにふるまったり、ドライブに行ったりと非常に楽しく過ごすことができたため、本当に参加してよかったと思っている。

4-9. 日本から持参してよかったもの

・ピンチハンガー・防犯グッズ・大き目のリュック・ホテルのアメニティ・薬・ご飯のお供・筆記用具・モバイルバッテリー・エコバッグ・箸・シップ・免許証などの身分証明書・化粧下地・スキンケア用品

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ヘアアイロン・夏服・単語帳・文庫本

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

違い①: 食事の時間が違う。昼は14時ごろ、夜は22時ごろです。12時ごろにお昼ご飯を食べようとしてもお店は開いていないです。また、14時ごろにお茶に誘うと微妙な雰囲気になることもあるので注意しましょう…! 夜20時集合で夜ごはんを食べるといきやお茶だけ飲んで解散なんてこともあるので食事などの時間感覚は要注意です。

違い②: 考え方が違う。日本人とは違い、みんな自分の意見や感じたことを率直に口に出します。それが原因でピソ内で気まずい雰囲気が流れることなどもあります。自分の意見を持ってしっかりと相手に伝えることが大切です。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

コロナウイルスの影響であまり遠出の旅行に行くことはなかった。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

いつもテスト期間は長時間の勉強で家にいると息が詰まるのでマヘンタというカフェでケーキを食べながら勉強をして気分転換を図っていました。5種類のうちから1つ選んで3€で食べられるケーキが絶品なので、みなさんもぜひマヘンタで息抜きを試してみてください。

5. その他

5-1. 留学先大学について

サラマンカ大学はマドリッドからバスで2時間半、ポルトガル寄りにある世界遺産の街に位置しています。サラマンカはスペイン語圏で一番訛りのないスペイン語を話す地域と言われていることもあり、世界各地から留学生が集まります。町全体が同じ素材の石で作られており、夕日が当たると黄金色に見えることから黄金の街とも呼ばれているほどのきれいな街並みです。スペイン最高の広場があったり、生ハムの名産地だったりサラマンカの環境はとても素敵です。また、サラマンカ大学はヨーロッパで4番目に古い大学で創立800周年を超えています。歴史あるサラマンカ大学で最高の街並みと食事と共に勉強することが出来るおすすめの大学です。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

サラマンカ大学では、現地の学生と同じ講義を受けることになるので日常会話レベルのスペイン語を勉強しておくといと思います。食事もおいしく、物価もあまり高くない地域なので、スペイン語さえ勉強していれば何も心配なく楽しい留学生活を送れると思います。ぜひサラマンカ大学への留学を実現させてくださいね！

5-3. 留学を終えて

留学を終えて、渡航前の自分よりも自分の意見を常に持つこと、そしてその意見を発信していくことができるようになりました。留学前までは周囲がしていることに流されて自分はどう思うのかということにあまり目を向けていませんでした。しかし、スペインの人たちは皆何に対しても自分の意見を常に持っており、授業・プライベート問わず常に意思表示をしていました。もちろん、留学生の私たちにも「あなたは思うの？」と問いかけることが多かったので、常に自分の意見を持って発言する習慣が身に付きました。また、渡航前は海外の人との交流に緊張したり身構えたりする面がありましたが、語学の上達や相手の文化を知る過程の中でそのような気負いはなくなり、日本人と同じ感覚で国籍が違う人とも関われるようになった点も大きく成長できた部分だと感じています。